

乳牛の日本飼養標準

1日1頭当り必要養分量

	可消化粗蛋白質 (DCP)	可消化養分総量 (TDN)	カルシウム (Ca)	リン (P)	カロチン
若成雌牛の正常成長の場合					
体重 350 kg	0.41 kg	4.47 kg	13 g	12 g	32 mg
450	0.43	4.97	12	12	40
550	0.45	5.47	12	12	48
成雌牛の維持の場合					
体重 350 kg	0.23 kg	3.02 kg	8 g	8 g	48 mg
400	0.25	3.34	9	9	54
450	0.27	3.65	10	10	60
500	0.29	3.95	11	11	66
550	0.31	4.25	12	12	72
600	0.33	4.53	13	13	78
650	0.35	4.81	14	14	84
700	0.37	5.09	15	15	90
妊娠の場合 (分娩前2~3ヵ月に維持量に加える量)					
	0.27 kg	2.70 kg	12 g	7 g	30 mg
乳生産の場合 (乳1kgに対して維持量に加える量)					
乳脂率 3.0 %	0.043 kg	0.280 kg	2.2 g	1.6 g	— mg
3.5	0.045	0.305	2.2	1.6	—
4.0	0.047	0.330	2.2	1.6	—
4.5	0.050	0.355	2.2	1.6	—
5.0	0.053	0.380	2.2	1.6	—
5.5	0.056	0.405	2.2	1.6	—
6.0	0.059	0.430	2.2	1.6	—

飼養標準を使う場合に注意すべき事項

1. この飼養標準は平均的な能力の乳牛にあてはまるが、高能力の牛では標準より多く飼料を与えなければならない。
2. 寒冷地では維持に要する熱量を多く必要とするので、標準より10~20%TDNを多く与えなければならない。
3. 分娩後1ヵ月以内は標準通り飼料を与えると消化器障害を起すことが多いので、標準より少なく与える。
4. 粗飼料の成分は成熟度により著しく異なるので、成分表の数値を使う場合は、粗飼料の成熟度に注意することが大切である。
5. 動物の養分要求量は平均値であるので、動物の個体差を考えに入れる必要がある。
6. 飼養標準は食べた飼料の量が問題であり、粗飼料の場合、与えた飼料を全部食べるとは限らないので注意を要する。

改訂増頁第7版

酪農家・草づくり・芝生づくりの必携書

飼料作物栽培の手引



主な増補箇所

カラードギニアグラス

ギニアグラス

バルブパニックム

コロンブスグラス

スイッチグラス

ブルーパニックグラス

飼料作物成分表

牧草の病害一覧

飼料作物用除草剤

主要牧草の形態図版

定価 300円 A5判 180頁

同友会員は1割5分引

10冊以上の場合には2割引いたします。



雪印種苗株式会社

本店	札幌市美園2条1丁目	電話	札幌 代表83-1161番	電略	サツポロヒガシ・ユキタネ
東京支店	東京都台東区台東3丁目東慶ビル内	電話	東京 代表833-5511番	電略	タイトウ・ユキタネ
盛岡支店	盛岡市大通3丁目東北堂ビル内	電話	盛岡 22-3195番	電略	モリオカ・ユキタネ
岡山支店	岡山市巖井1482	電話	岡山 52-0395番	電略	オカヤマ・ユキタネ
帯広出張所	帯広市東2条南14丁目	電話	帯広 3-4419番		
北見出張所	北見市北5条東4丁目	電話	北見 3-4603番		
釧路出張所	釧路市鳥取南5丁目1-7	電話	釧路 23-6141番		
上野幌育種場	札幌市厚別町上野幌815	電話	札幌 89-2803番		
草地酪農研究農場	千葉市長沼原町	電話	千葉 59-2826番		
藤の沢農場	札幌市藤野1区	電話	札幌 59-8527番		
江別工場	江別市1番町16の1	電話	江別 2-3047番		
釧路工場	釧路市鳥取南5丁目1-7	電話	釧路 23-6141番	電略	クシロ・ユキタネ
松戸工場	松戸市根本字大道下	電話	松戸 62-9155番		
北上工場	北上市飯豊町村崎野第14	電話	北上 6-2226番		